



# MX-Fluxbox

## 3 ドキュメント

### 目次を見る

1.はじめに.....	1
2.初期設定.....	2
2.1 デスクトップアイコン.....	3
2.2 Conky.....	3
2.3 tint2 パネル.....	4
2.4 Docks.....	5
2.5 ルートメニュー.....	6
3.FLUXBOX のセットアップ.....	7
4.リンクス.....	13

### 1.はじめに

このヘルプドキュメントは、MX Linux の一般的な内容を記載したユーザーズマニュアル (F1) を補完するものです。

- 1.はじめに
- 2.設置方法
- 3.構成
- 4.基本的な使い方
- 5.ソフトウェア管理
- 6.上級者向け
- 7.フードの下
- 8.用語集

MX FLUXBOX (=MXFB) は、すぐに使える最小限の MX Linux の "ベース" バージョンです。ユーザーは通常、一般的なソフトウェアを追加したいと思うでしょうが、その場合はまず MX Package Installer を使用することをお勧めします。

その名の通り、MXFB はウィンドウの配置や外観をコントロールする[ウィンドウマネージャー](#)として [Fluxbox](#) を採用しています。 その小さなメモリーフットプリントと素早いロー

ドタイムは、低リソースのシステムでは非常に効果的であり、高レベルのマシンでは非常に高速です。すべての基本的な設定は、わかりやすいフォーマットの[テキストファイル](#)で制御されます。

MXFB は2つの基本的な構成で動作しますが、その間には多くのバリエーションが考えられます。

- 基本的な Fluxbox コンポーネントが含まれていますが、便利なグラフィカルアプリを使用する MX Linux に準拠した「Default」。
- デフォルトの構成から様々なコンポーネントを簡単なクリック操作で追加できる Fluxbox

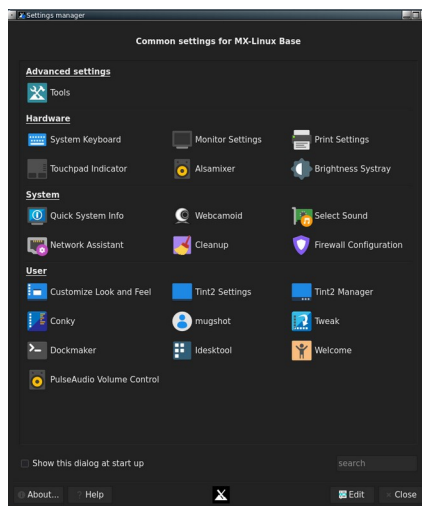
## 2.デフォルト



左上から時計回りに、プリンシパルのコンポーネントを紹介します。

1. デスクトップアイコン (2.1 項)
2. 「コンキー」と呼ばれるシステム情報表示 (2.2 項)
3. クリエイティブな tint2 パネル (2.3 項)
4. ネイティブ・ドック (2.4 項)
5. 隠れた Fluxbox の "rootMenu" (セクション 2.5)

新規ユーザーが最初に利用するのは、ドック、パネル、ルートメニューから利用できる「設定」マネージャーでしょう。



アプリケーションは、デスクトップアイコンやドックアイテムのほかに、以下のようなツールでも起動できます。

- 従来のパネルのスタート（MX ロゴ）ボタンをクリックすると、Xfce の Appfinder が表示されます。
- デスクトップを右クリックします。メニュー → 「すべてのアプリ」で、Debian ライクなカテゴリメニューが表示されます。
- キーボードのロゴキー（Windows または Apple のアイコン）をクリックすると、「rofi」という非常に高速なツールが表示され、便利なプロパティを備えたアルファベット順のメニューが表示されます（詳細は [Wiki を参照](#)）。
- F2 をクリックすると、小さな実行ウィンドウ（fbrun）が表示され、実際のプログラム名が表示されます。

以下のセクションでは、これらの各コンポーネントの使用手法と管理方法についての基本的な理解を深めることができます。注：以下のセクションでの「メニュー」という言葉は、デスクトップ上で右クリックしたときに表示されるルートメニューを指します。

## 2.1 デスクトップアイコン

隠す。メニュー → 「見えないところ」 → 「アイコンを切り替える」  
削除（アイコン）：アイコンを中クリックすると iDesktool が起動します。  
停止：メニュー > 目立たない場所 > iDesk の切り替え  
管理する。メニュー > 外観 > デスクトップアイコン  
ヘルプ： [ウィキ](#)で

MXFB のデスクトップアイコンは、2005 年に開発された iDesk によって実現されています。iDesk は、fluxbox などのミニマムウィンドウマネージャのユーザー向けにデスクトップアイコンを描くために開発されたプログラムです。アイコンは手動で設定することもできますが、グラフィカルなツールの方がはるかに簡単です。MX Linux の開発者とユーザーは、既存のツールを改良、近代化、拡張して iDesktool を作りました。メニュー > 外観 > デスクトップアイコン。

このツールは、MX-Fluxbox でのデスクトップアイコンの使用を非常に容易にします。非常にわかりやすいので、使い方についての質問はほとんどないでしょう。

ここでは、デフォルトの「ビデオ」アイコンを例に、デスクトップアイコン（ ~/.idescrc で設定 ）の基本的なマウス操作を紹介します。

アクション	マウス	例
実行	左シングルクリック	MXFB の YouTube チャンネルにオープン
実行する	右シングルクリック	アクションメニューを開く
管理	中段（スクロールボタン）シングルクリック	アイコンにフォーカスした iDesktool を開きます。
ドラッグ	左クリックでホールド、離すとストップ	

## 2.2 コンキー

隠す。メニュー > *Out of sight* > *Toggle conky*

削除 (コンキー)。メニュー > 外観 > コンキー

停止: メニュー > 視界に入らない場所 > トグルコンキー

管理するメニュー > 外観 > コンキー

ヘルプ: Wiki で [MX コンキー](#)、[コンキーマネージャー](#)

MX-Fluxbox のユーザーは、メニュー > アピアランス > *Conky* をクリックして MX Conky を表示し、そこから Conky Manager を起動したり、他のメニューを利用して、MX Linux 用のデフォルトの Conky セットを利用することができます。Conky Manager は、基本的な管理方法としては便利ですが、MX Conky は、MX Linux 特有の色の操作など、高度な機能を提供します。

Conky Manager では、以下の簡単な手順で、コンキーの編集、表示、表示を行うことができます。

- 各コンキーをハイライトしてプレビューを押すと、どのように見えるか確認できます。次の作業に移る前に、必ず各プレビューを閉じてください。
- 基本的なプロパティを変更するには、設定アイコン (歯車) をクリックします。
- 使用したいコンキーにチェックを入れてください。自動でインストールされます。
- 設定ファイルは、`~/.conky/` というフォルダに、個々のテーマファイルとして格納されています。直感的ではありませんが、リストの中の *conky* をハイライトして、編集アイコン (鉛筆) をクリックすることで、編集することができます。

より複雑なコンキータの場合は、コンポジターを使用する必要があります。メニュー → 「設定」 → 「コンフィグ」 → 「スタートアップ」をクリックし、コンポジターに関する行のコメントを外して、次のように表示させます。

## 2.3 tint2 パネル

隠す。メニュー → 「見えないところ」 → 「パネルの自動非表示を切り替える

削除します。Manual: `~/.config/tint2/` から設定を削除します。

Stop: Manual: "*startup*" ファイルの行の前にコメント(#)を付ける

管理する。設定マネージャー > Tint2 マネージャー (ドックとパネルのアイコン

ヘルプ: [ウィキで](#)

オリジナルの Fluxbox ツールバーは、現在のユーザーが期待する機能やデザインとは大きく異なっています。(メニュー > アピアランス > ツールバー > Fluxbox | Traditional (伝統的) > Fluxbox | Traditional (伝統的そのため、MX-Fluxbox 2.2 では、"tint2" と呼ばれる高度な設定が可能なアプリを使って、代替りの "トラディショナル" ツールバーが追加されました。

パネルを変更するには、スタートボタンの横にあるランチャーアイコン、またはドックの歯車アイコンをクリックします。これにより、設定マネージャーが起動し、"Tint2 manager"をクリックすることができます。

画面には、`~/config/tint2/`にあるすべての tint2 の設定が表示されます。MXFB は、非常に異なる設定の小さなセットを提供しているので、それを試してみることができます。

既存の設定を選択するだけでなく、パネルの要素を変更することも可能で、これは tint2 の大きな楽しみの一つです。テキストファイルを直接編集するには、上部の「Graphical editor」ボタン、または下部の「Edit」ボタンをクリックします。

グラフィカル・エディターには2つのアプリケーションがあります。

- "Themes"には、ユーザーのロケーションにあるすべての tint2 のコンフィグと、インストール中に持ち込まれたいくつかのコンフィグが表示されます。
- "Properties"は、実行中のコンフィグの機能を表示します。プロパティ "ウィンドウ"が表示されていない場合は、左上にある小さな歯車のアイコンをクリックしてください。

ここでは、一般的なアクションをいくつかご紹介します。

- ランチャーを追加 / 削除する。プロパティ "ウィンドウ"で、左側の "ランチャー"項目をクリックします。右側のパネルには2つの列があり、左側には現在ツールバーに表示されているアプリケーションのアイコンが、右側にはインストールされているすべてのデスクトップアプリケーションのリストが表示されます。
  - 追加: 右カラムのリストから必要なアプリケーションを選択し、中央の「左矢印」アイコンをクリックしてから「適用」ボタンをクリックすると、即座にツールバーに追加されます。
  - 取り外し: 手順を逆にしてください。
- パネルの移動やサイズ変更プロパティ "ウィンドウ"で、左パネルの「パネル」の項目をクリックし、右パネルでその配置とサイズを選択します。適用 "ボタンをクリックします。

**注意:** 新しいテーマを選択すると、クイックランチャーの追加など、以前使用していたテーマで行ったカスタマイズは失われます。まず現在の設定をバックアップして、カスタマイズした内容を新しいテーマに貼り付けられるようにしておくといいいでしょう。`~/config/tint2/tint2rc` をクリックして featherpad で開き、"tint2rc\_BAK"などの新しい名前で保存してください。そして、バックアップファイルからカスタマイズしたすべての行を、新しい tint2rc 設定の適切な場所にコピーします。

## 2.4 ドック

隠す。メニュー」→「見えないところ」→「ドックの自動非表示を切り替える削除 / 追加 (Dock アイテム) を行います。メニュー > 外観 > ドックメーカー停止 (デフォルトドック)。メニュー > Out of sight > デフォルトドックの停止

**管理するメニュー** > 外観 > ドックメーカー

ヘルプ: [ウィキで](#)

plank のような外部のドックは、しばしば Fluxbox と簡単には連動しません。しかし、MXFB には Dockmaker と呼ばれるネイティブアプリがあり、ユーザーは簡単にドックを作成、変更、管理することができます。ユーザーが初めてログインすると、デスクトップに縦型のドックが表示され、その設定は `~/fluxbox/scripts/DefaultDock.mxdk` で行います。

注: tint2 をドックとして使用することもできます。

## 2.5 ルートメニュー

**Hide:** デフォルトでは常に非表示

**Remove/Add (メニュー項目の削除)** です。メニュー → 「設定」 → 「Configure」 → 「Menus」

**Stop:** 開始する行の前にコメント (#) を付ける。

`session.menuFile:`

**管理するメニュー** → 「設定」 → 「Configure」 → 「Menus」

ヘルプセクション 3 とリンク

rootMenu は、読みやすく、編集しやすく、機能しやすくするために、4 つの独立したユニットで構成されています。短いメインメニュー (`~/fluxbox/menu-mx`) には、"submenus" というフォルダの中にある 3 つのサブメニュー (外観、設定、見えないところ) が組み込まれています。

その他の Fluxbox コンポーネントについては、次のセクション 3 で詳しく説明しますので、ここでは、rootMenu の要素を実用的な観点から紹介します。区切り線で囲まれた 3 つのセクションを見ていきます。

- トップ
  - すべてのアプリ: Debian のようなカテゴリメニュー (必要に応じて更新)
  - Recent files: 使用された最新のファイルが表示されます (必要に応じて更新してください)。
- 中: いくつかの一般的なアプリ
- ボトム
  - 外観
    - コンキー
    - ドック
    - デスクトップアイコン
    - モニター: 小型システムモニター
    - スタイル: ウィンドウ、ツールバー、メニューの装飾

- テーマ
- toolbar: ツールバーとパネルの選択
- 壁紙: 回転、ワークスペースごとに分離、選択
- 設定
  - バックアップ
  - configure: メニュー、statup などの Fluxbox ファイル。
  - ディスプレイ: ディスプレイパラメータの変更、調整方法のヘルプ
  - キーボード: 11 種類の言語に素早く変更可能
- Out of sight: 要素を隠すための便利なコマンド集
- 残す。
  - refresh: ログアウトしていない場合、設定ファイルの変更後に使用される
  - サスペンド
  - ログアウト
  - リブート
  - シャットダウン

初めての方は、このメニューを一通り見て、その内容やパワー、柔軟性を実感していただくのが良いと思います。特に魅力的なのは、メニューが完全にユーザーのコントロール下にあるという点です。

### 3. フラックスボックス

このセクションでは、従来の Fluxbox のセットアップを行いたいユーザーを対象としています。

#### 何から始めればいいのか？

従来の Fluxbox のセットアップを復元するのはとても簡単です。デスクトップ上の任意の場所を右クリックすると、デスクトップメニュー(rootMenu)が表示され、使用することができます。次のような変更が指先でできます。

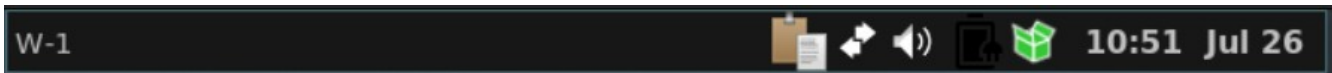
- 設定 > ツールバー > Fluxbox: 従来のパネルが消え、画面上部に Fluxbox ツールバーが表示されます。
- 視界外 > キルドック\*。
- 視界の外 > キルコンキスタッチ
- 視界の外 > iDesk とアイコン\*を切り替える

\*永続的な変更のために、"startup"ファイル内の関連する行をコメントアウト(#)してください。設定」→「構成」→「スタートアップ」で、以下のようになります。



```
#$HOME/.fluxbox/scripts/DefaultDock.mxdk
#$HOME/.fluxbox/scripts/conkystart
#idestoggle idesk on 1>/dev/null 2>&1 &
```

それでは、変更されたデスクトップをどのように理解し、使用するかを説明します。



## 上にあるツールバーは何ですか？

この fluxbox ツールバーは、MX ユーザーにワークスペース、開いているアプリケーション、システムトレイ、および現在の時刻に関する情報を提供します。幅や配置は、ツールバーの時計やページャーを中クリック（＝スクロールホイール）して得られるオプションで設定できます。何らかの理由で動作しない場合は、「メニュー」→「設定」→「ウィンドウ、スリット、ツールバー」→「ツールバー」をクリックしてください。高さは `~/.fluxbox/init/` で設定します。

```
session.screen0.toolbar.height: 0
```

ゼロがある場合は、選択したスタイルで高さを設定することを意味します。それ以外の場合は、20 から 25 の値が快適であることが多いです。

ツールバーには、以下のデフォルトコンポーネントが含まれています（左から右）。

### ポケットベル

- ワークスペースを上（右クリック）または下（左クリック）に切り替えることができます。Control + F1/F2/など、Ctrl-Alt + ←/→、またはデスクトップの何も無い部分でスクロールホイールを使用するのと同じです。番号と名前は `~/.fluxbox/init` で設定します。"W "は "Workspace "の略です。

### アイコンバー

- ここでは、開いているアプリにアイコンが表示され、関連するアイコン（ツールバー自体も含む）を右クリック＞アイコンバーモードで、さまざまなウィンドウオプションを利用できます。MX-Fluxbox のデフォルトは「すべての Windows」です。

### systemtray AKA systray

- Xfce の通知領域に相当します。デフォルトのコンポーネントは `~/.fluxbox/init` に設定され、systemtray オプションを持つアプリは起動時にそこに表示されます。

### クロック

- 時計を 12h または 24h に合わせるには、右クリックして「12h」または「24h」のどちらが表示されている方をクリックします。うまくいかない場合は、「Edit clock format」を選択してください。
- 24 時間: %H:%M、12 時間: %I:%M。
- デフォルトは 12 時間制で、日付は日/短月形式: %I:%M %b %d です。他にも多くの時刻 / 日付オプションがあります: <https://mxlinux.org/wiki/other/time-formats-in-scripts/>

`~/.fluxbox/init/`にあるツールバーコンポーネントは、デフォルトでこのように設定されているので、移動や削除が可能です。



ワークスペース名、アイコンバー、システムトレイ、時計

## ツールバーを Windows のようなレガシーシステムに近づけるにはどうしたらいいですか？

メニュー」→「外観」→「ツールバー」→「トラディショナル ( tint2 使用 ) 」をクリックします。

## デスクトップの不要なアイテムを処分するにはどうしたらいいですか？

メニュー > アウトオブザサイト > ...

このエントリーには

- プログラム全体を停止させる実際のキルエントリーです。次回のログイン時には、スタートアップファイルで有効になっていたものが、デフォルトのドックを除いて再び表示されますが、これは無効になります。
- デフォルトのドックを削除するためのディセーブル・エントリーです。
- プログラムを終了させたり、再起動させたりできるトグルエントリー。

## メニュー項目を変更・追加するにはどうすればいいですか？

メニュー」→「設定」→「構成」→「メニュー」と進みます。構文は次のとおりです。[カテゴリ] (名前) {コマンド} - 大括弧、小括弧、中括弧を正しく使用してください。

例 1: 「ミュージック」を DeaDBeeF ではなく Clementine を開くように変更する

- Music」の文字がある行を探す ( 必要に応じて Ctrl+F を使用する

(音楽) {deadbeef} [ exec] (音楽)

- コマンド部分の "deadbeef " という単語をダブルクリックしてハイライトさせ、"clementine " と入力して保存すると、このような結果になります。

( exec) (音楽) {clementine}。

- メニュー」→「残す」→「更新」をクリックすると、新しい設定が使用されます。

例 2: メニューに Skype を追加する

- この例では、「Communicate」という新しいカテゴリーを共通アプリのセクションに追加したいと仮定し、そこに入力します。
- サブメニューのコマンド ( 下記参照 ) を使ってカテゴリーを作成し、新しい行を導入して、パターンに従ってください。[exec] (メニュー項目) {command}。
- 結果は以下のようになります。

[サブメニュー] (Communicate)

[exec] (Skype) {skypeforlinux}を使用しています。

[終了]

- メニュー > リープ > リフレッシュ

必要に応じてアプリケーションファインダー（F6）を開き、対象となるエントリを右クリックして「編集」を選択し、メニューの正しいフルコマンドをコピーしてください。

## その他、ウィンドウについて知っておくべきことはありますか？

- サイズ変更変更したい角の近くで Alt+右クリックし、ドラッグします。
- 移動：Alt+左クリックしてドラッグ
- スティック：左上の小さな四角を使って、ウィンドウを現在のデスクトップに限定します。
- オプション：ウィンドウの上部にあるツールバーを右クリックします。特に価値があるのは、サイズと場所を記憶するように選択する機能です（`~/.fluxbox/apps` に記録）。
- タブ機能：あるウィンドウのタイトルバーを Ctrl キーを押しながらクリックし、別のウィンドウにドラッグ&ドロップするだけで、複数のウィンドウを上部にタブがある1つのウィンドウにまとめることができます。再び分離するときは逆の手順で行います。

## メニューにスタイルが表示されていますが、これは何ですか？

スタイルは、ウィンドウやツールバーコンポーネントの外観をどのように生成するかを fluxbox に伝えるシンプルなテキストファイルです。Fluxbox は `/usr/share/fluxbox/styles/` に多くのスタイルを同梱しており、Menu > Look > Style で表示されます。また、"fluxbox styles" で検索すると、より多くのスタイルが見つかります。

スタイルには背景画像を含めることができますが、MX-Fluxbox では、メニュー > 設定 > 構成 > オーバーレイのトップラインでデフォルトでブロックされています。スタイルが背景を決定できるようにするには、ラインの前にハッシュマークを置いて、次のようにします。

```
!次の行は、スタイルが背景を設定するのを防ぎます。  
#バックグラウンド: なし
```

あるスタイルを気に入ったが、特定の特徴を変更したい場合は、そのスタイルを `~/.fluxbox/styles` にコピーし、名前を変更してから変更してください（下記の「リンク」にある Ubuntu スタイルガイドを参照してください）。このフォルダには、MX で使用するために変更された fluxbox スタイルがいくつかあります。

## テーマとはどのようなもので、どのように管理すればよいのでしょうか？

MX-Fluxbox のテーマは、GTK 2.0 のテーマです。いくつかのテーマはデフォルトでインストールされていますが、その他のテーマはウェブ検索で見つけることができます。GTK テーマは、パネルの色、ウィンドウやタブの背景、アプリケーションがアクティブなときと非アクティブなときの見え方、ボタンやチェックボックスなどの項目を制御します。テーマには、非常に暗いものから明るいものまであります。

MX-FLUXBOX のデフォルトテーマは[WHAT?]です。これは、デスクトップ上で右クリックして、メニュー > 外観 > テーマを表示することで変更できます。テーマ、アイコン、フォントなどのセレクトが表示され、他の可能性を見て選ぶのがとても簡単です。

## 一部の文章が読めないのですが、なんとかありませんか？

テーマで使用されるフォントは、テーマセレクトで調整することができます。MX-Fluxbox のデフォルトは Sans 11 です。~/.fluxbox/overlay ファイルを使用することで、より詳細なコントロールが可能です。例えば、テキストを全体的に大きくするために、次のようなコマンドを試してみることができます。

```
# fonts-----
menu.frame.font:PT Sans-12:regular
メニュー.タイトル.フォント:PT Sans-12:regular
ツールバー.時計.フォント:PT Sans-11:regular
ツールバー.ワークスペース.フォント:PT Sans-11:regular
toolbar.iconbar.focused.font:PT Sans-11:regular
toolbar.iconbar.unfocused.font:PT Sans-11:regular
window.font:Lato-9
```

その他のフォントオプションについては、このドキュメントの最後にあるリンクを参照してください。

## 壁紙の変更は可能ですか？

まず、オーバーレイファイルが背景を決定するスタイルをブロックしていることを確認してください。次に、「メニュー」→「外観」→「壁紙」→「選択」をクリックすると、利用可能な選択肢が表示されます。名前が "mxfb-" で始まる壁紙には、MX-Fluxbox のロゴが入っています。メニューから表示されるリストには、ユーザー背景 (~/.fluxbox/backgrounds) とシステム背景 (/usr/share/backgrounds) が水平線で区切られて表示されます。この設定により、ユーザーフォルダに背景を追加した後、メニューから選択できるようになります。

## どのような端末がありますか？

- F4 (またはメニュー > ターミナル) = ドロップダウン Xfce4-terminal
- メニューまたは F2: roxterm

## 独自のキーストロークの組み合わせを使用できますか？

はい。多くのキーは、メニュー > 設定 > 設定 > キーにデフォルトで表示されています。いくつかのキーの名前は少しわかりにくいです。

- Mod1 = Alt
- Mod4 = ロゴキー (Windows, Apple)

More: <http://fluxbox.sourceforge.net/docbook/en/html/c296.html>

MX-Fluxbox には 6 つの専用ファンクションキーがあります (変更するにはキーファイルの上部を参照してください)。

- F1: MX-Fluxbox のドキュメント
- F2: クイックアプリランナー "[rofi](#)" でコマンドを実行する
- F3: ファイルマネージャー
- F4: ドロップダウンターミナル
- F5: MX ツール
- F6: すべてのアプリ

## どのようなスクリーンオプションがありますか？

- 明るさ: システムトレイのバッテリーアイコンを右クリックします。

- Capture: ドックにある専用のアイコンが mxfb-quickshot を実行します。もし Print Screen ( 別名 Print、PrtSc など ) キーがあれば、それも使えるはずです。

## スリットについての記事を読みましたが、それは何ですか？

スリットは元々 [Dockapps](#) のコンテナとして考えられたものですが、MXFB では主に Dock に使用されています。デスクトップ上の様々な場所に配置することができます。

- 左上、中央上、右上
- 左センター、右センター
- 左下、右下、中央、右下

このターミナルコマンドで、dockapps のデフォルトレポを検索することができます。

*apt-cache search dockapp*

レポにある多くのものは、うまく機能しないかもしれませんが、見てみる価値はあります。

apt-cache で検索しても出てこない、とても興味深くて便利な dockapp が、MX-Fluxbox にデフォルトでインストールされているモニタースタック [gkrellm](#) です。メニュー > システム > モニターをクリックすると利用でき、多くの設定オプション ( トップラベルやチャートの 1 つを右クリック )、多くの [スキン](#)、多くの [プラグイン](#) があります。いくつかのスキンはデフォルトでインストールされており、Shift-PageUp をクリックして確認・選択することができます。便利なプラグインは repos の [gkrellweather](#) からインストールでき、MX repos のバージョンがインストールされているとうまく動作します。

## 6. リンク

man ファイル ( ターミナルまたは <https://linux.die.net/man/> ) 。

- フラックスボックス
- fluxbox-keys
- fbrun
- フラックススタイル
- fluxbox-remote

<http://fluxbox.sourceforge.net/docbook/en/pdf/fluxbook.pdf>

基本的なハンドブック、やや古いがまだ使える

<https://bbs.archlinux.org/viewtopic.php?id=77729>

例を挙げての一般的な説明が良い

<https://wiki.archlinux.org/index.php/Fluxbox>

いくつかのコマンドは Arch 特有のものです。

<https://wiki.ubuntu.com/HowToFluxboxStyles>

<https://ubuntuforums.org/showthread.php?t=617812>

フラックスボックスキーに関する優れたスレッド

<https://wiki.debian.org/FluxBox>

<https://wiki.debian.org/FluxboxIcon>

<http://fluxbox.sourceforge.net/docbook/en/html/chap-tabs.html>

ウィンドウのタブ化。

<https://github.com/jerry3904/mx-fluxbox>

MX-Fluxbox の GitHub レポ

<https://mxlinux.org/wiki/help-files/help-mx-fluxbox/>

MX-Fluxbox の Wiki エントリ

<https://bit.ly/2Sm1PJl>

YouTubeMX-FLUXBOX